

令和6年度 第1回 高野小学校授業研究会



全校児童431人 18学級

☆1年生	2学級	65名
☆2年生	2学級	76名
☆3年生	3学級	82名
☆4年生	3学級	78名
☆5年生	2学級	63名
☆6年生	2学級	67名
☆支援学級	4学級	28名

☆通級指導サテライト教室 (R6~)

☆別室 (ほかほかルーム)



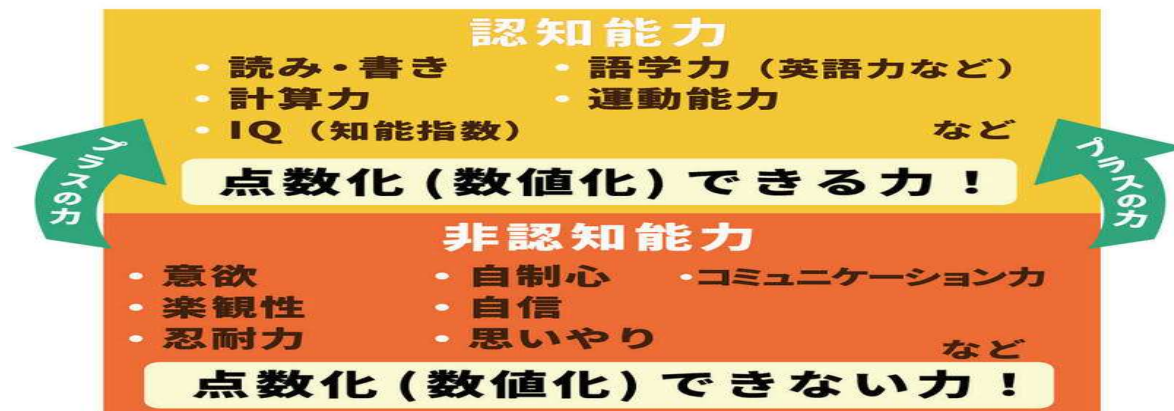
津山市立高野小学校

令和6年度 学校教育目標 『自立する子どもを育てる』

⇒ 自立とは、自分で考え、自分の言葉で伝えて話し合い、協働して伸びようとする子

【高野小のめざす子ども像】

た…大切に
か…考える
の…伸びる



【めざす高野小学校像】

《やる気》勉強・体験活動を重視する学校

《元気》あいさつ・返事・健康・体力向上を重視する学校

《思いやり》友達や地域の人とのつながり・安全安心・対話を重視する学校

【めざす高野小の先生像】

☆(令和の教育)学び続ける教職員

☆(育てる)温かさと厳しさをもつ教職員

☆(幸せ)対話を大切にする教職員

令和6年度校内研修 研究主題 『非認知能力を育てることを意図した教育活動』

非認知能力とは・・・

いわゆる学力検査等では測定できない能力を意味し、具体的には、やる気、忍耐力、協調性、自制心など、人の心や社会性に関係する力と捉えている。

本校においては、大きく3つの力に整理している。

① 他者とつながる力

② 自分と向き合う力

③ 自分を高める力

高野小学校で目指す**非認知能力の7つの視点**

た（大切にする子）	か（考える子）	の（伸びる子）
<input type="checkbox"/> やさしくする <input type="checkbox"/> いっしょにやる	<input type="checkbox"/> ねばる <input type="checkbox"/> きりかえる <input type="checkbox"/> おちつく	<input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> ちゃれんじ

【高野小学校キャラクター「にじりん」】

本校では、「やさしくする」「ねばる」「きりかえる」「おちつく」「楽しむ」「チャレンジ」「一緒にやる」の7つの視点を、高野小キャラクター「にじりん」として以下の通り、整理した。



【全学年全学級で共通した取り組み】

- ・児童向けの行動指標を、全教室や廊下に掲示し、積極的に活用する。
- ・各「にじりん」を、授業中に黒板に提示しながら児童の意識化を図る。

1 授業研究テーマ

「やりたい・できた・わかったを大切にした授業づくり
～ゴールを意識した導入の工夫～」

2 授業研究テーマの設定理由

多様で、人に関わることの好きな児童が多く、明るく、頑張ることが多い反面、指示待ちの傾向が強い。また、ルールを守れず自己中心的な行動が常態化している児童が数名おり、安心・安全な環境が乱れることがある。全体的な課題として、人とつながる体験や切磋琢磨する経験が少なく、養護し養護される経験が乏しいこと等を踏まえ、授業において、認知能力を育成する中で、協調性、自制心など、社会性を身につける非認知能力をねらったものである。授業において、まず、やってみようとする意欲や、できる見通しをもつこと、できたという手ごたえを実感することを重視したいと考えた。

3 サブテーマとの関連

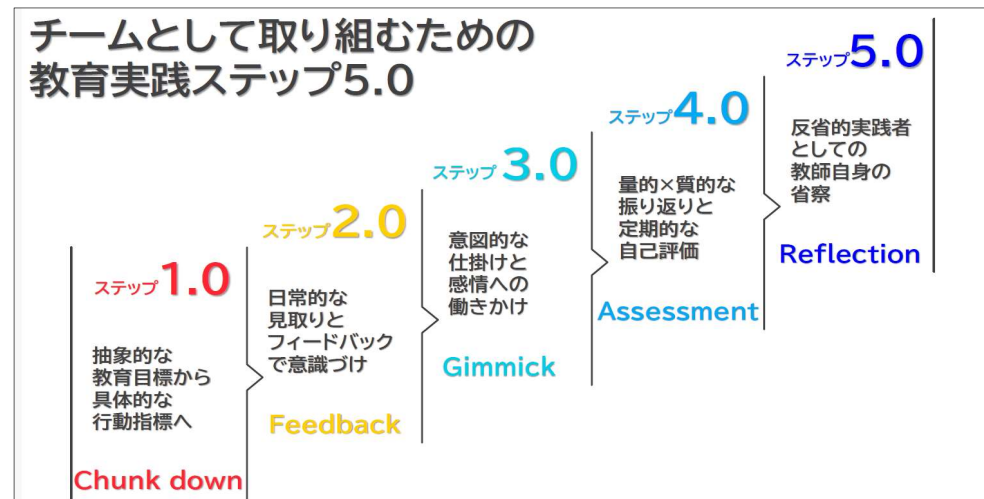
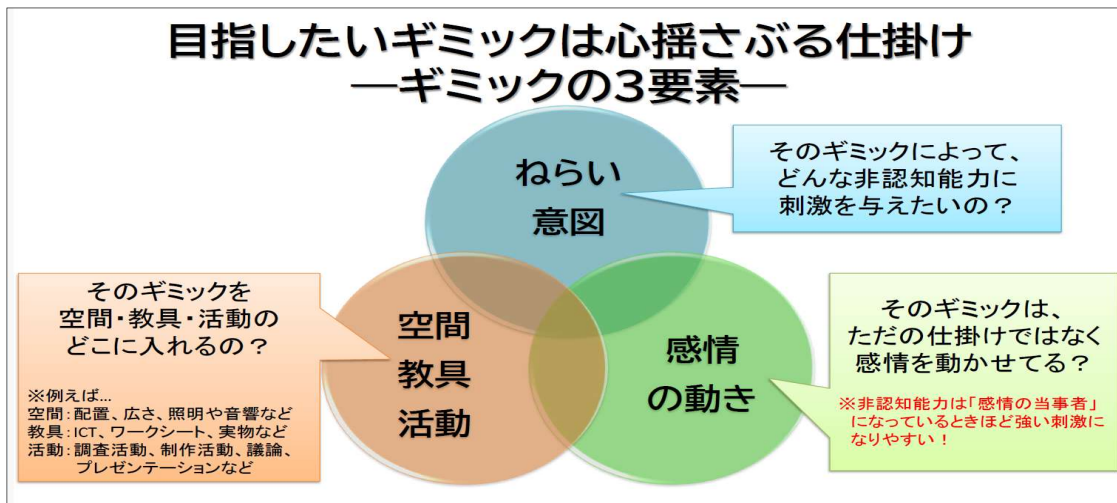
年度当初より、1時間の授業において、「めあて-活動-まとめ-振り返り」をやりきる授業タイムマネジメントを意識して授業に取り組んでいる。ゴールを意識するとは、1時間の授業で具体的なまとめや振り返りを想定しながら、一番には導入における児童の意欲や知的好奇心を刺激することに重点を置いて工夫をするという意図を込めた。基礎学力が定着していない学年や学習意欲が続きにくい児童が見られる実態からスタートしている。

4 授業研究の仮説（具体的な取組内容）

授業の中で児童の「やってみよう」という思いを引き出す導入を工夫すること。併せて、「話す・書く・考える」といった児童の感情をゆさぶるであろう主体的になる活動「ギミック（しかけ）」を授業の序盤（10分頃）、中盤（20～30分頃）、終盤（35分頃）に設定すれば、授業研究テーマを意図する授業づくりにつながるであろうと考えた。

5 研究の軌跡

前岡山大学 中山芳一先生による「非認知能力」の定義、説明から



ギミックブラッシュアップシートで明確に!

津山市立高野小学校 ギミックブラッシュアップシート		授業者名	
教科		学年など	
単元			
本時の目標			
	序盤:ギミック① (分頃~ 分頃)	中盤:ギミック② (分頃~ 分頃)	終盤:ギミック③ (分頃~ 分頃)
非認知能力	<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに	<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに	<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに
ギミック			
	<input type="checkbox"/> 空間・ <input type="checkbox"/> 教具・ <input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間・ <input type="checkbox"/> 教具・ <input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間・ <input type="checkbox"/> 教具・ <input type="checkbox"/> 活動
予想できる姿			
感情イメージ	開始		終了

【高野小ギミックブラッシュアップシート (GBUS) を活用する】

単元名と本時の内容及びめあて



各ギミックの時間と引き出したい非認知能力

ギミックについて具体的に説明

空間・教具・活動のどこにギミックを入れるか選択(複数可)

児童がギミックを意識したときに予想できる姿

授業時間中の子どもたちの感情の動きを曲線化

津山市立高野小学校 GBUS ギミックブラッシュアップシート		指導教諭 樂万 恵子
教科	算数	学年 4年1組
単元	算数で読みとこう「給食の食べ残しをへらそう」	
本時の目標	既習内容を活用して、棒グラフや折れ線グラフ、表などを自分なりに考察し、食べ残しについて、問題解決能力や情報処理能力を高める。	
序盤:ギミック① (1-5分頃)	中盤:ギミック② (10-15分頃)	終盤:ギミック③ (35-40分頃)
<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに	<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに	<input type="checkbox"/> あきらめない <input type="checkbox"/> おちつき <input type="checkbox"/> きりかえ <input type="checkbox"/> やってみよう <input type="checkbox"/> たのしむ <input type="checkbox"/> やさしく <input type="checkbox"/> いっしょに
・給食の食べ残しが多い日を目指す ・実際に残食が多いデータと理由について考える。 ・気温以外の理由も予想する。	・棒グラフに折れ線グラフを書き込む数学的活動を行うことを通じて、はたと着の予想の是非を検証する。 ・気温以外の理由も予想する。	・別のデータ(給食の献立と残食の量)の関係があるか考える。 ・自分なりの予想を考える。
<input type="checkbox"/> 空間 <input type="checkbox"/> 教具 <input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間 <input type="checkbox"/> 教具 <input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 空間 <input type="checkbox"/> 教具 <input type="checkbox"/> 活動
・一人が筆算一杯も残していること ・悪い日は、食べ残しが多いと予想する	・気温が高い日は食べ残しが多いけど、気温が低い日も多い日がある。 ・献立に関係ある?	・カレーやハンバーグの好きな給食は残さない。 ・昼食でも残る量が少ない日もある。
開始		終了
2023/10/15		
(商品開発の図) (データ1・2) (データ3・4) (グループ活動)		



《高野小の授業研究提案》

「授業で認知能力と非認知能力を一体的に育てること」を目的として、児童の心を動かすギミック(しかけ)を授業にとり入れる。

授業者は児童の感情のイメージを予想し、導入、展開、終盤のそれぞれの場面で、非認知能力を意識したギミックをしかける。見える化したシート。

ギミックブラッシュアップシートとにじりんを活用した道徳の実践




道徳の時間 ふいかえいシート

ねばる

1時間の学習での自分の心の動きを曲線で表現しましょう。

月 日 4年3組 5番 名前 大森紫保

	はじめ	めあて	活動1	活動2	主問題	まとめ	ふりかえり
心の動き							

この時間をふりかえて思ったことやがんばったことを自由に書きましょう。



たくさん発表してねばれた!!
これからも1人の方がいたらさそいたい

どのにじりんを使うか

内容とにじりんの振り返り

どのにじりんを使うか

内容とにじりんの振り返り

たのしむ

道徳の時間 ふいかえいシート


1時間の学習での自分の心の動きを曲線で表現しましょう。

10月17日 4年3組 25番 名前 山本さえ

	はじめ	めあて	活動1	活動2	主問題	まとめ	ふりかえり
心の動き							

この時間をふりかえて思ったことやがんばったことを自由に書きましょう。

この話を聞いて私もゆう気を出してさそうことをきめてうれしかった。
みんなとたのしくいっしょにかこうかんできてうれしかった。

本時の提案授業について

☆1年2組 算数「ひき算」 授業者 川元 啓祐 教諭

ギミック	ギミックの意図
ギミック1:	既習事項では解けない問題（13-9）を提示する。
ギミック2:	算数ブロックを用いて、10から9をひき、残った1と3をたす方法に気づかせる。
ギミック3:	4人グループで12-9の計算や説明に挑戦する。

☆3年2組 理科「こん虫のかんさつ」 授業者 十倉 遥香 教諭

ギミック	ギミックの意図
ギミック1:	「カフト」を用いて、昆虫の体のつくりについて復習し、バッタの体のつくりはどうなっているのか予想する。
ギミック2:	グループごとにバッタを観察し、プリントにまとめる。
ギミック3:	いろんな虫を提示し、昆虫と昆虫ではないものにグループ分けをし、理由を説明する。

本時の提案授業について

☆4年1組 算数「算数でよみとこう」 授業者 樂万 恵子 指導教諭

ギミック	ギミックの意図
ギミック1:	令和3年度の食品廃棄量523万トンを提示し、523万トンはどのくらいの量なのかを知る。
ギミック2:	グループごとにデータ2～6のうち2つを選ばせ、そのデータをもとに学校で残った給食の量と残った理由について話し合う
ギミック3:	4-1での給食の残った量と残った理由について考え、給食を残さないためにはどんなことができるか話し合う。

☆6年1組 国語「大切にしたい言葉」 授業者 今石 愛実 教諭

ギミック	ギミックの意図
ギミック1:	知って欲しい名言について、教師が作成した作文を紹介し、本単元の学習の見通しや大切にしたい言葉への興味づけを図る。
ギミック2:	自分が選んだ言葉の候補を2～3つに絞らせ、グループの中でその言葉を選んだ理由を紹介し、友達からアドバイスをもらう活動を行う。
ギミック3:	グループの助言を受けて、どのように作文にしていけるか構想を立てたものを紹介しあうことで、文章作成の見通しをもち、意欲を高める。

6 授業研究の評価について

- 教科学習の場面を中心に非認知能力育成に向けて取り組みを実践してきたが、身につけるべき教科の内容がどの程度定着しているか、認知能力の側面については単元テスト等で確認する。
- 「ギミックブラッシュアップシート」を活用して、感情曲線と授業との関係性について、授業者の想定と児童自身の振り返りとの相違について検証を行う。児童自身の学びの自己調整力の育成につなげる。
- 非認知能力育成の取り組みと、学力向上との関連について、教職員間で情報共有等を行う。

7 今後の研究について

- 令和6年12月11日(水) 第2回公開授業(2年、5年)及び中山芳一先生による講評
- 3学期(1~2月) 今年度の校内研修まとめと次年度研修計画へ反映

令和6年度 第1回 高野小学校授業研究会



熱心な協議とご指導を
ありがとうございました

アンケートのお願い

本日の研究会に
ご参加いただいた
感想やご意見をお
聞かせください。
よろしくお願
いします。



津山市立高野小学校

令和6年度 第1回 高野小学校授業研究会



熱心な協議とご指導を
ありがとうございました

第2回 高野小学校授業研究会

【日時】 12月11日(水)
午後

【公開学級】 2・5年学級



津山市立高野小学校